

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来 広告やテレビなど メディア関係の仕事に就きたいと思っていて、メディア創造学科ではドキュメント制作やドラマ制作など 機材を使った 実習があり、メディアについて学ぶ環境が整っていると感じたからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1 学期〕

私は部活をしていて、夜 7:30 くらいに部活が終わるとすぐに寮の自習室に行くようにしていました。部活を引退するまでは特別な受験勉強はしておらず、次の日の授業の予習や単語テストの勉強をしていました。毎日塾に行く習慣をつけておいたのが引退してからすぐに受験モードに切り換えることができました。部活のときは部活、学園祭のときは学園祭、勉強のときは勉強、メリハリが大事です。

〔夏休み〕

毎日朝 8:30 頃 寮の自習室へ行っていました。夏休みに入る前に計画を立てて、「この期間でこれをやる」となどを決めていました。本来なら単語などは夏休みまでにできるだけたくさん覚えておくのがいいのですが、自分は覚えていない部分が多く、あたためて問題を解きつつ、単語を覚えていくというように同時進行でやっていた。夏休みになって単語を覚えていない！という方は単語を覚えてから問題に取り組むのではなく両方を同時にしていく方がいいです。そうしないと間に合わないと思います。

〔2 学期～入試直前〕

私は公募推薦を受けることに決めました。しかし公募推薦では自分の得意な日本史は使えず、英国のみの受験でした。その時にもっとはやから英国をやっておけばよかったな... と思いました。公募推薦は不合格でしたがその悔いさをバネに一般入試まで特に英語に力を入れました。同志社女子大学の英語は半分文法だったので Vintage (ヴィンテージ書店) を使い何度もくりかえして完璧にできるようにしました。それから過去問を手に入れて全解いてまちがった文法をノートにまとめていました。日本史も同様に過去問をひたすら何年分も解いて出てきやすい分野などを研究しました。一般入試の過去問にとりかかったのは 12 月頃からです。問題形式に慣れることにより、本番も取り組みやすかったです。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

部活をしている間はとにかく時間がなく、また勉強時間を毎日とることは難しいかもしれませんが、しかし時間時間はたくさんあります。移動時間や部室で友だちと単語の問題の出合いをするといった方法はとても有効だったと思います。友だちとや、友だちが楽しかった覚えがある。一石二鳥でした。秋頃から勉強に行きつまたときは、帰り道に少し友だちと話をしたりしていました。そうすると自分も晴れて「さあ、また頑張ろう」という気持ちになりました。自分はテレビが好きで、ご飯を食べている時間だけ早速りて観たりしていました。そうすると時間短縮できていいですよ！SNS は LINE 以外は消して見ないようにしていました。最初は見たくなることもあるかもしれませんが、慣れれば全然気にならなくなりました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は想像の何倍も精神的にも体力的にもしんどかったです。周りの人にたくさん支えられて合格をつかむことができました。早くから受験勉強に取り組むことと周りの人への感謝の気持ちを忘れられないことが何より大事だと思います。がんばりが伸びが感じられず、つらいときもあると思いますが、それをのりこえたときの事を想像して最後まであきらめずにがんばってください。